

日本出版インフラセンター(JPO)活動報告会 次第

日時：2008年8月1日 15:00～

会場：大阪屋本社会議室

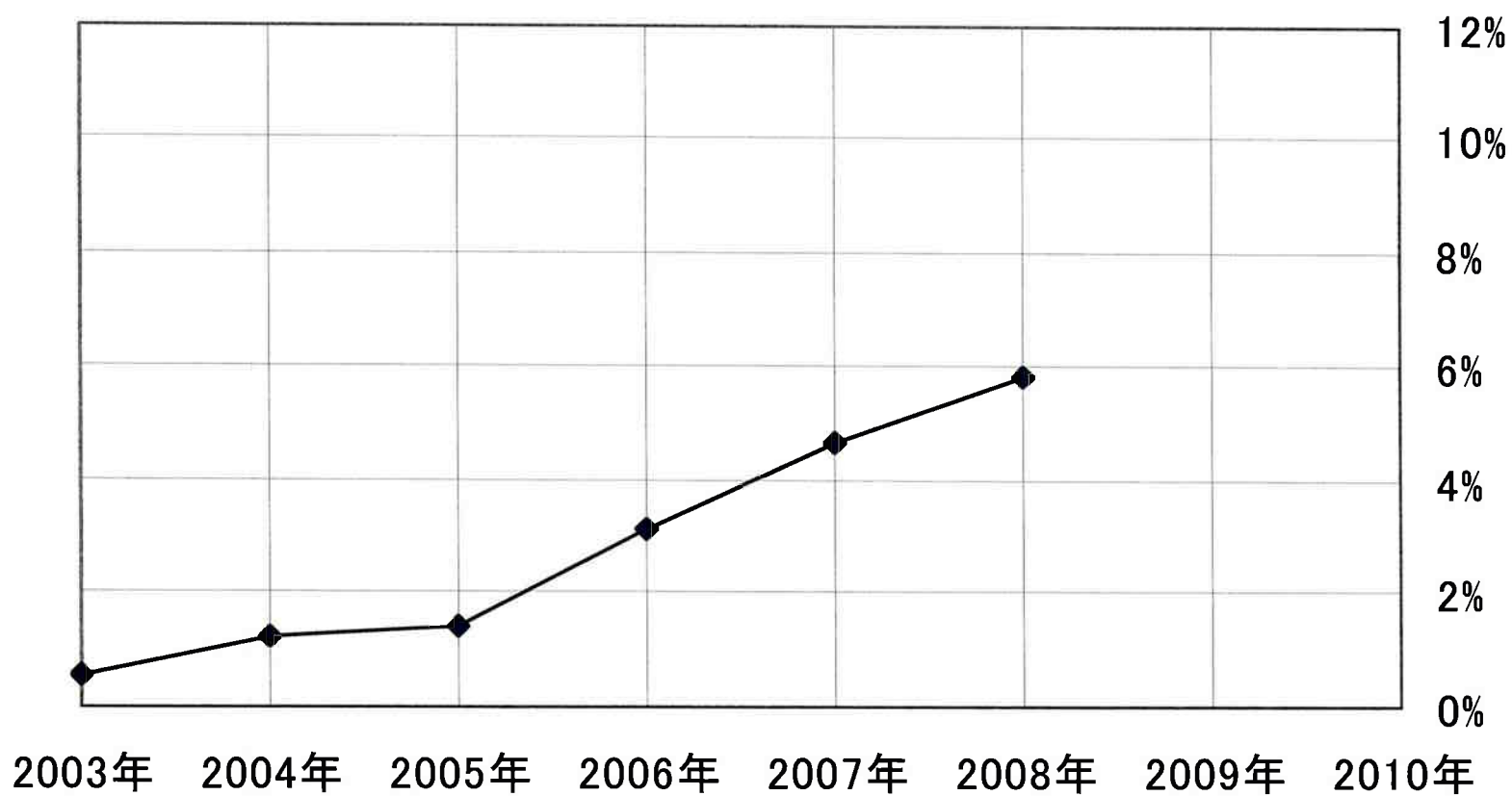
総合司会 …… 株式会社筑摩書房 取締役 平川恵一 (JPO運営委員)

1. 開会の辞 …… 日本書店商業組合連合会
副会長 面屋龍延 (日書連・近畿ブロック会長)
2. 主催者代表挨拶 …… 株式会社小学館
顧問 佐藤善幸 (JPO運営委副委員長)
3. ICタグ研究委員会各部の報告
 - (1) 書店部会 …… 株式会社有隣堂
顧問 村越 武 (部会長)
 - (2) 装着・古紙化部会 …… 株式会社角川グループパブリッシング
常務取締役 田中弘一 (部会長)
 - (3) 出版社・取次倉庫部会 …… 昭和図書株式会社
取締役 山下信一 (部会長)
 - (4) 図書館部会 …… 社団法人日本図書館協会
事務局 吉田直樹 (副部会長)
4. 出版RFIDコード管理研究委員会の取組について
…… 株式会社講談社 促進企画部次長 永井祥一 (同 研究委員長)
5. 日本出版インフラセンターの活動全般について
…… 大江治一郎 (JPO事務局長)
6. 質疑応答
7. 閉会の辞 …… 日本書店商業組合連合会
副会長 井門照雄 (JPO理事)

以上

公共図書館への導入状況

公共図書館RFID導入館数割合



図書館標準化の検討の経緯

1998年

図書館へのＩＣタグ導入が始まる

2005年

日本図書館協会標準化素案提示

2006年

図書館におけるＩＣタグ標準化検討会

国立国会図書館

全国公共図書館協議会

国公立大学図書館協力委員会

全国学校図書館協議会

専門図書館協議会

日本図書館協会

ISO TC46/SC4

組織変更

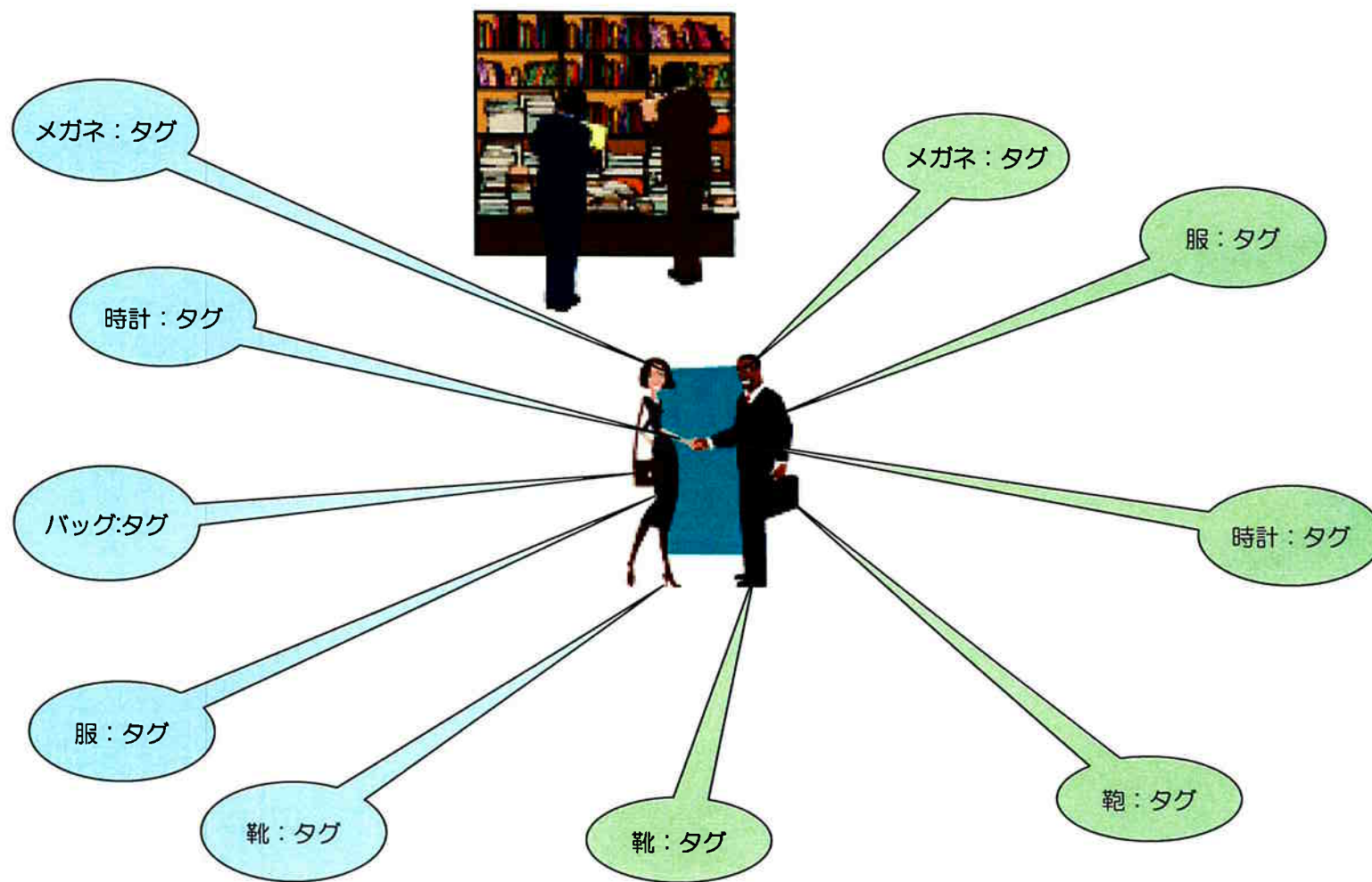
2008年

JPO-ICタグ研究委員会図書館部会

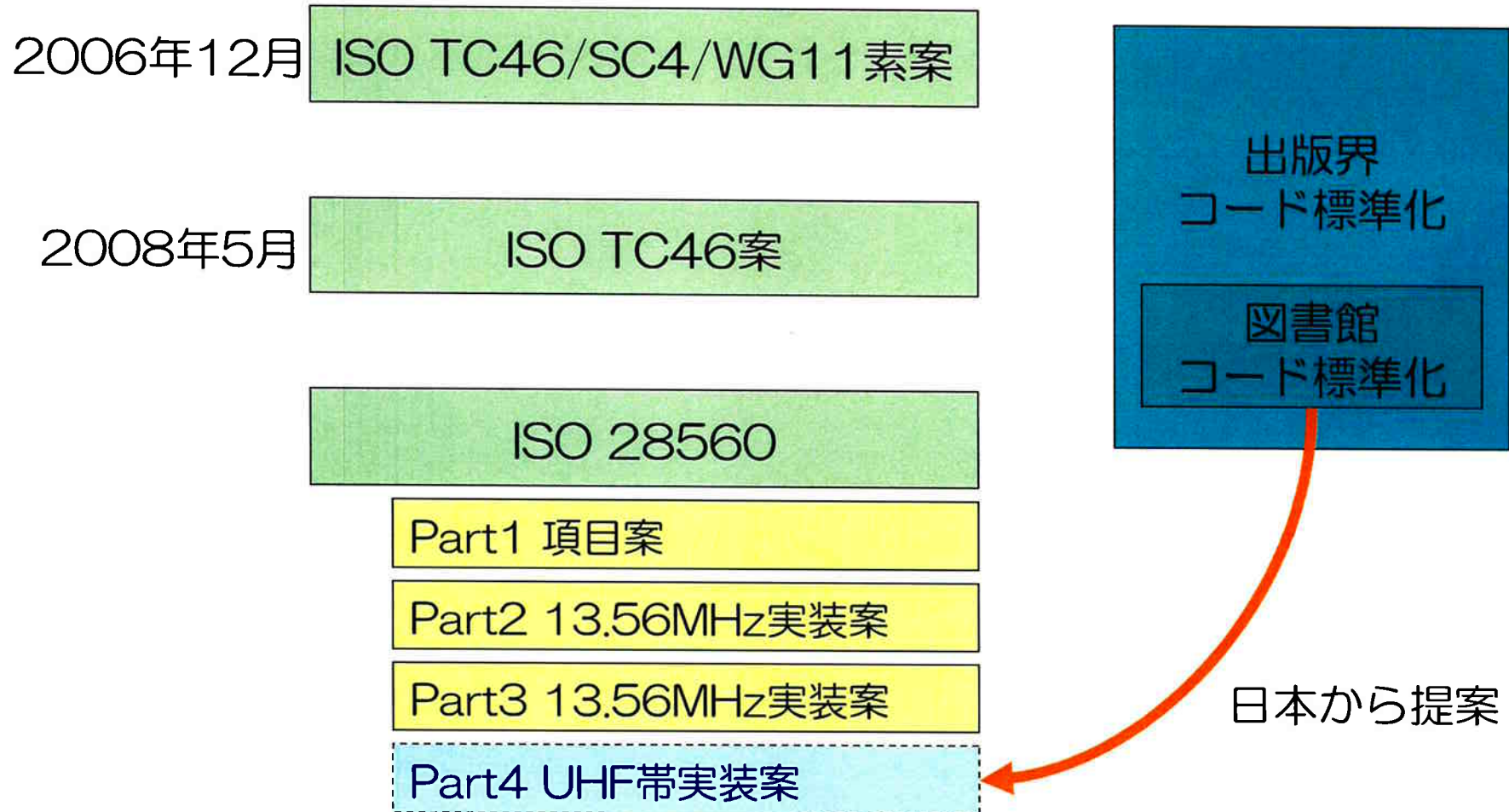
出版との連携の利点

タグ貼付不要	ICタグの用意が不要。コストと書込みに要する手間が節約できる
書誌連携	書誌と現物を関連付ける（いわゆる紐付け）作業が不要になる
サービス共有	出版界が用意するサービスの一部を手間なく享受できる
規模利益	膨大な規模に追随することによるコスト面でのメリットを享受できる

書店内にも、さまざまなタグが氾濫する



ISOでの検討と今後の方向





「責任販売制」と「委託販売制」の併用 (ホームメディカへのRFタグ導入)

企画の概要

■ 対象商品

- ホームメディカ
新版・家庭医学大事典





企画の概要

■ 定価

- 特別定価 6,300円(本体6,000円)

 - 2009年5月末まで

- 定価 6,825円(本体6,500円)

■ 発売日

- 2008年11月18日(予定)

■ 書店マージン

- 責任販売制:35%

- 委託販売制:通常通り



企画の目的

- 現在の出版業界の高返品率、および廃棄処分増加の改善、返品減少施策
- <版元ー販売会社ー書店>の物流システム・複数取引条件の多様化
- 書店マージンの見直しによる販売意欲と効率販売
- 版元の計画生産体制作り、および返品・改装・在庫処分コストの軽減

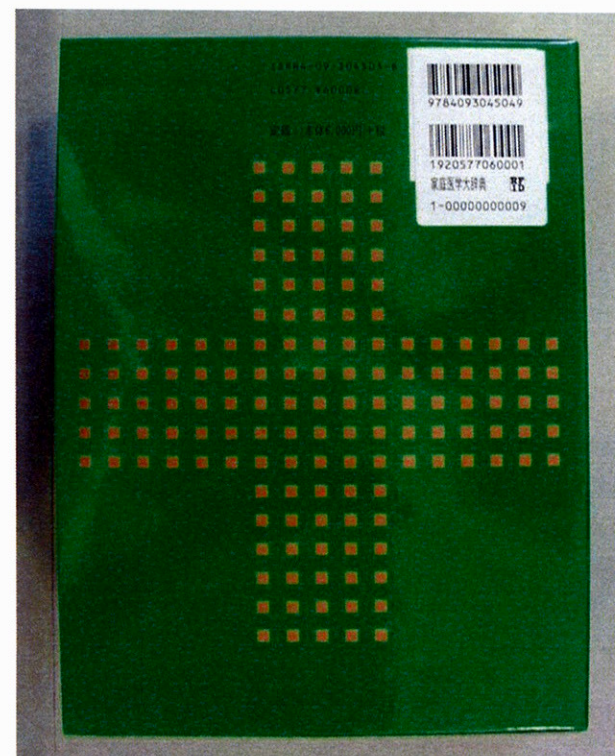


取引条件併用の方法

- 「RFID」の機能を利用し、複数（責任販売と委託）の取引条件を分別する
- RFID機器の導入状況から、目視検品も可能であるように以下の対策を実施
 - ㊦マークの表示（ケース（天・地）、オビ（背））
 - スリップの色別表示
 - RFタグのシリアル番号
（責任販売制の先頭桁＝「1」）

RFタグの装着

- 取引条件に関わりなく、全書籍に装着
- ケースのバーコード上に貼付
- 弱粘着のシールを使用





取引条件の記録

- RFタグに保存されている情報はISBNとシリアル番号
 - 両者を組み合わせることにより、全ての書籍に異なる個体識別番号が付く
- 出荷時に個体識別番号をキーとして、出荷先（書店）と取引条件をデータベースに記録



取引条件の識別

- 返品受入時にRFタグを読み取り
- 読み取られた個体識別番号をキーとして、出荷先、取引条件を検索・確認